

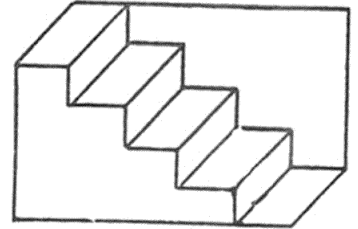


「学ぶことの意味」

校長 田中 正樹

1980年代の前半、暗い大学ロビーの掲示板に、物理学科の学生のまなざしを集めている記事がありました。まるで、そこだけ光を集めているようでした。その記事に書かれていたのは、「スペースシャトルに搭乗する初の日本人宇宙飛行士の募集」です。それまで、日本人には無理だと思っていた宇宙飛行士が広く公募されたのです。当時、アニメの機動戦士ガンダムにあこがれていた人も多かった私たち物理学科生にとっては極めて刺激的な掲示でした。実際、この公募によって応募者総数531名の中から3名の日本人が選ばれ、その後スペースシャトルに搭乗しました。その中の1人が、今年の3月まで日本科学未来館の館長をされていた毛利衛氏です。その毛利氏がある雑誌のコラムに、文言はあいまいですが、「自分はテニスが好きでよくテニスをするが、物理を学んだ後にテニスをするとボールの回転とバウンドの関係などがより詳しくわかり、テニスが前にも増して面白くなった。」というような内容の記事を書いています。

さて、私たちはものを見る時「目で見ると言いますが、実際はどうでしょうか？例えば右の階段の絵を見てください。そして、この絵を180度回転してみてください。文字はひっくり返るのに階段はひっくり返りません。なぜでしょうか？



実は、私たちの脳が見える形を勝手に解釈するからなのです。つまり、私たちはものを見る時、実際は目で見るとは脳で見ているのです。従って、複数の人間で何かを見ると、一人ひとり脳が違いますから見える形も違ってきます。物体は1つでも脳が解釈する形は皆それぞれ違うのです。これは一人の人間についても言えることです。学ぶことでその人の脳が変わってくると、その人に見える世界も変わってきます。多く学べば学ぶほど、より多くの新しい世界が見えるようになってきます。毛利氏のように面白さが増します。そして、毎日が楽しくなります。私は「学ぶことの意味」をこのように考えています。ぜひ、皆さんも文系、理系問わずいろいろな学びを通して新しい世界を知り、自らの世界を広げていきましょう。仮に君が数学を嫌いであったとしても数学は君を嫌いになっていません。学問に心を開くかどうかはすべて自分次第なのです。

今年も秋が来ました。夕暮れが早くなり暗くなった職員玄関を出ると、夕闇をつんざくように周りの木々からリーリーという虫の声が聞こえます。この虫、実は外来種のアオマツムシです（写真）。文部省唱歌「虫の声」には出てこない虫です。人の心はうつろえど自然は悠然と変わりなくそこにあり続けるという意味の文はたくさん見たことがあります。最近は周りの自然も人と一緒にうつろう時代になったなと感じています。これから深まる秋の夜長、自分と向き合い、いろいろなことに思いを馳せながら、思考を深めていって欲しいと思います。



今年度の2年生「地域共創人育成Project」

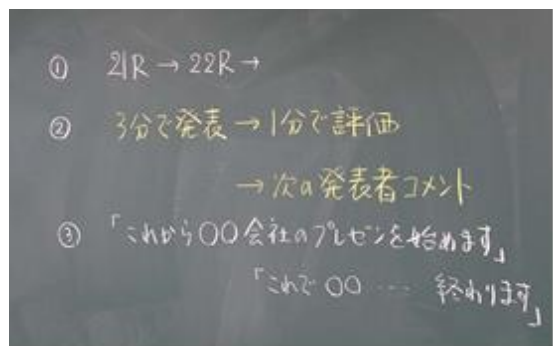
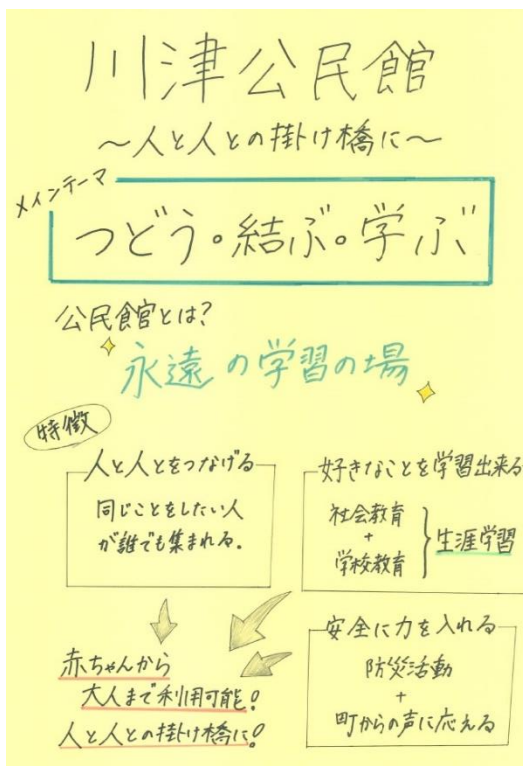
本校が取り組む「地域共創人Project」の一環として、2年生は1学期より「総合的な探究の時間」で「地域・企業の課題探究」に取り組んでいます。

この活動は、松江市など地域の企業・団体の皆さんと一緒に、「企業・団体の課題の設定」「仮説(解決策)の立案」「検証」という探究活動を行い、最終的には企業・団体のPR動画作成や課題解決の提案を行えるように取り組むものです。

企業・団体の方々から話を聞き、課題を明確にしていく前段階として、1学期に生徒が調べてきた企業・団体の「概要」「魅力・特徴」「企業や企業の魅力(特徴)に対する個人的な想い」という三点をまとめた発表会を8月31日に実施しました。

生徒はクラスを解体して作られた5名の班に分かれ、お互いの発表を聞き、ポスターの工夫やプレゼンテーションの際の態度などを評価しあいました。発表会には企業・団体20社の方々に来校され、生徒が行うポスター発表を聞いていただきました。

今後、企業・団体とのミーティングの日程調整、インタビュー、具体的な提案についての意見交換などを進め、12月9日に開催予定の発表会に向かっていきます。



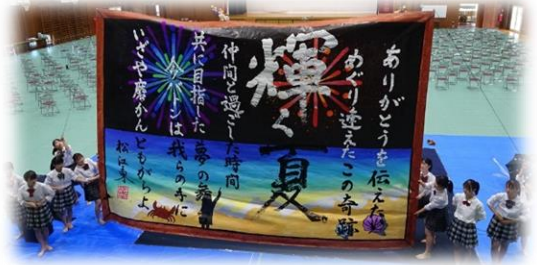
↑ ポスターの例

東雲祭を行いました！！！！

今年も本校の学園祭「東雲祭」が8/26～28の3日間で行われました。今年の東雲祭のテーマは「**煌 ～ Be Crazy Be You ～**」でした。このテーマの通り、生徒はありのままの自分ではっちゃけていました。新型コロナウイルス感染症のため例年通りとはいきませんでしたが、生徒は出来る範囲で精一杯活動に取り組み、楽しんでいました。

1日目

吹奏楽部、合唱部のパフォーマンスで東雲祭スタートしました。続いて、1年生の合唱コンクール。短期間で練習を頑張りました。書道部のパフォーマンスも圧巻でした。



2日目

1,3年生の総合的な探究の発表から始まりました。2年生の「イーストフェスタ」では各クラスがステージで劇を行いました。



3日目

体育の部、最初の種目は応援パフォーマンスでした。1～3年が一体となったパフォーマンスはとても魅力的でした。どの分団も練習の成果を存分発揮した演技となりました。



【 部活動報告 】

運動部

- アーチェリー部 : 金崎晴陽、松本美咲、安達萌、江崎 咲空
(インターハイ)
- ボート部 : (男子) 舵手付きクォドルプル (三谷・原・長棟・高橋・村上)
(インターハイ) ダブルスカル (田中・松田)
(女子) ダブルスカル (和田・高本)
- 陸上部 (新人戦) : 女子走幅跳 松本絆那 **4位** (4m87) **中国大会出場**
- テニス部 (新人戦) : (男子) シングルス 上山 陽太 **ベスト16**
ダブルス 來海 智哉・上山 陽太 **5位**
(女子) シングルス 岩田京華 **10位**
ダブルス 岩田京華・江角楓香 **ペア 7位**

文化部

- 吹奏楽部 : 全日本吹奏楽コンクール島根県大会 高等学校小編成の部 **金賞**
- 書道部 : 高文連書道コンクール 森脇彩香、赤木琴梨、橋本希映 **特選**
書道パフォーマンス甲子園本戦 (**全国大会**) **第6位**
- 美術部 : 松江地区美術講習会・コンクール 三好杏奈、島貫仁湖 **特選**
島根県人権啓発ポスターコンクール 梶野こなつ **優良賞**
- 文化創造部 : NHK杯全国高校放送コンテスト島根県大会
・テレビドキュメント部門 「月一の楽しみ」 **優良賞**
(青戸和奏、今村紗英、小笹音羽、鈴川菜々恵)
・創作ラジオドラマ部門 「また明日」 **4位**
(青戸和奏、今村紗英、小笹音羽、鈴川菜々恵、高井雪好、長田こはる、原由奈)
高文連春季写真コンクール 伊藤花菜、鈴川菜々恵(2点)、山崎あゆみ **特選**

【 行事予定 】

【10月】

- 15日 3年生進研記述模試 (~16日)
- 16日 土曜講座④
- 18日 立会演説会
生徒会長選挙
- 20日 ETC⑤
- 22日 3年生全統M模試 (~23日)

【11月】

- 5日 3年生進研M模試 (~6日)
- 6日 土曜講座⑤
- 9日 1,2年生進研模試 (2年生は~10日)
- 12日 3年生全統プレ (~13日)
- 18日 試験発表
- 25日 期末試験 (~30日)

【12月】

- 2日 2年生球技大会
- 6日 1年生球技大会
- 9日 1,2年生MATSUE探究成果発表会
- 16日 2年生進路検討会 (~17日)
- 17日 1,2年生校内実力テスト
- 21日 終業式 (冬休みは1/6まで)
3年生冬期講座(~28日)

島根県立松江東高等学校

〒690-0823 島根県松江市西川津町510番地
TEL: 0852-27-3700(代表) FAX: 0852-27-3703
HPアドレス <https://www.matsuehigashi.ed.jp/>

学校だより「EAST NEWS」(カラー版)はホームページにも掲載しています。バックナンバーもありますので、ぜひご覧ください!!

編集・発行 松江東高校魅力化推進部